



モスクワ日本人学校

Japanese School in Moscow

しらかば

学校だより No. 15

12月8日

モスクワ日本人学校

校長 岡本 高一

インフルエンザ流行に注意してください

校長 岡本 高一

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力頂きありがとうございます。
学校では先月末から、インフルエンザの診断を受ける児童生徒が出始め、今週に入り、増えてきています。症状は38度台の発熱症状が多いようです。新型コロナウイルスの変異株も心配される中でのインフルエンザの流行で、どちらのウイルスにも感染防止の対応が必要になっています。感染防止の観点から、インフルエンザの場合も学校への登校を控え、再開に関しては医師の判断を基本に、治癒後の登校を再開するよう、ご配慮をよろしくお願いします。欠席の場合は、学校よりオンライン授業の学習支援を行いますので、担任にご連絡頂ければと思います。また、大使館からも次のような情報、注意喚起の連絡を頂いています。

〔大使館より〕

最近、インフルエンザ感染が拡大しているようで、ロシア衛生当局（ロスポトレブナゾール）が繰り返し注意を呼び掛けています。下記サイトをご参照ください。

インフルエンザもコロナも基本的な感染対策は一緒ですので、引き続き、感染対策に努めていただけますと幸いです。

https://www.rospotrebnadzor.ru/about/info/news/news_details.php?ELEMENT_ID=19942

学校では特に以下の感染防止に関する対応を徹底し、感染防止に努めていきます。

〔学校での感染防止対策の徹底〕

- ① 手洗いの励行
- ② 休み時間の教室換気
- ③ マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保
- ④ 教室の加湿器による加湿

【11月に、コロナ禍でもできる小学部全学年、交流学习を進めました。】



〔同じ校舎を利用するイタリアン校との交流〕
○校舎内での交流を避け、校庭で日本の伝統的な踊りをイタリアン校に披露しました。



〔ロシア現地校1139番校との交流〕
○直接の対面での交流はできないとのお互いの判断でオンライン交流を行いました。